

GCN通信



井本さん近影

～理事の紹介～

井本 郁子（いもと いくこ）さん [副理事長]

地域自然情報ネットワークの皆様こんにちは。

NPO法人地域自然情報ネットワークは8月で2年目を迎えました。あらためて、1年前の会の状態を思い起こすと、経済的な基盤もなく、決まったプロジェクトがあるわけでもなく、ほとんどゼロからの出発でしたが、無事に1年を終えることができました。この間、いくつかのプロジェクトを無事終了させることができホッとしています。そ

して、いくつかは今も進行しており、これから良い成果を出していくことが期待されています。

この1年、講習会やセミナーを通じて多くの方々と交流する機会を設けることができたことは、素晴らしいことだったと感じています。会員の皆様、たくさんのご支援ありがとうございました。そしてこれからも会の活動へのより積極的な参加をお待ちしています。よろしく願いいたします。

～最近の動き～

ニュースレター発行の間隔が空いてしまいましたが、ニュースネタがなかったわけではありません。環境ベースマップフォーラムの首尾につきましては、ホームページをご覧ください。

1) 祝！ 法人設立1周年 一初めての総会も無事終わりましたー

昨年8月、手探り状態の中で「法人設立登記」を敢行してから、あっという間にこの6月「第一期事業年度末」を迎えてしまいました。法人たるもの、事業年度末から2ヶ月以内に社員総会を開き、登記しなければならない、という定めにも拘らず、ともかくも8月1日に第一期の期末総会を開催し、大きな混乱もないまま終了することができました。酷暑の中ご参集いただきました方々には、この場を借りてお礼申し上げます。書面表決をいただきました多くの方々にもお礼申し上げます。先日、登記手続きも無事終了しました。

課題山積みのままの2年目突入ではありますが、別記のとおり、事業報告と事業計画を見ますと、我ながらたくさんのごことをよくやっております。総会では収支報告・予算案も審議可決されまして、5百万円足らずの売り上げで8万円少々の赤字決算となりました。手持ち資金ゼロ同然で始めた初年度にしては上出来です。実績に倍する総額1千万円余の予算はまあ、ユメですから…。叶えるには事業計画の遂行のみであります。（事務局）

2) ESRI ユーザ会議に参加して

2004年8月9日から5日間、アメリカ・サンディエゴで行われた24回目を迎えるESRI ユーザ会議に参加した。参加者は全世界より13,000人を超え、日本からも100名近いユーザーが集まった。

「The Language of Geography」を今年の会議のキーワードとし、開会式ではGISを言語のひとつと考え、別々に管理や解析、処理が行われている様々な情報やワークフロー、計画などをこの「言語」によって統合させることにより、意思決定ができることとESRI社長が語った。

技術的な発表では、今年リリースされたArcGIS9の新しい製品であるArcGIS Engineやデスクトップ製品の新たな機能についての紹介が多数あり、機能の充実と製品の多様化が進んだことで、誰でも扱い易いアプリケーションになってきている一方で、より専門的な技術や知識も必要になってきていると感じた。

ユーザー発表では民間だけではなく行政からの参加も多く、国としてGISを日常的に使っている様子が伺えた。電力中央研究所の井内氏、電力計算センターの高橋氏、CCSの松林氏（当会理事）がEcoGISの紹介を行い、聴衆の一人のEPA（US Environmental Protection Agency）の方は大変興味を持ったようであった。

会場では毎日30以上の発表などが同時に行われ、最新の技術情報や事例の収集を行うと同時に、アメリカを中心に世界各国でGISがどのように普及し活用されているのかを肌で感じる事ができ、充実した一週間であった。

今回の参加者有志で、秋にESRI ユーザ会議の報告会をしようと考えております。参加できなかった方たちも報告会に参加して頂き、情報の共有や意見交換などをしていきたいと考えております。（大村 径）

事務局注：当会関係者は、約10名が参加しました。ESRIジャパン株式会社のご厚意により4名の参加費の一部について助成を頂きましたことをここに記し、深く御礼申し上げます。

～総会の報告～

総会では、平成15年度の事業報告と、16年度の事業計画が示されました。ここでは、事業報告書からの抜粋と事業計画書の抜粋をお示しします。次ページ以降に、それぞれの一覧表を掲載します。

(1) 平成15年度事業報告

会員や民間企業との協働により、自然環境調査や自然環境情報の整備を行うとともに、それらのデータをGISを積極的に活用して、客観的な解析・評価等の事業を実施した。また、教育・研究機関との連携のもと、地域の自然環境保全の計画策定に資する実践的なGISデータ解析の講習会や実習会等を開催した。これは、フィールドデータや地生態学、景観生態学の研究成果の融合をはかり、技術的な啓蒙普及と人材の育成に努めたものである。本会が主催した「環境GISベースマップ」に関わるシンポジウムには、全国から多くの技術・研究者や市民が集まり、自然環境保全やGISを活用した実践活動について活発な意見交流が行われた。

本会は、このような活動を通して、自然環境保全に関わる新しい技術やその応用、今後の可能性などについて、その重要性を理解してもらうことができたと考えている。

(2) 平成16年度事業計画書

会員の活動を積極的に支援するために、会員向けの講座や実習会を充実させる方向で検討する。今後、講師やアシスタントの質と量を確保する必要があり、対外的講習会業務の品質管理上も重要な活動と位置づけられる。また、より積極的な会員確保や営業強化など組織の態勢確立を計るなど、財政の健全化が課題である。会員の協働はもとより、そのための財源確保の一案として、社会的信用が一層高い認定NPO法人化をめざした活動を進める方向で理事会で検討予定である。

このような本会の事務・営業の拠点として、また会員の活動を支援するスペースとして、都心部に新たな‘事務所’を開設し、常勤の事務職員を雇う構想がある。これには資金面の裏づけ等に関し十分な検討が必要である。

～お知らせとお願い～

事務局では、会員名簿を作成いたしております。先日暫定版をメンバー全員に配布いたしました。空欄になっている方々からも、あのような形で公表しても差し支えない範囲での情報をお待ちしております。また、会員の皆さんの研究・実務業績や、技能・資格（得意分野）等についても非公開でデータベース化することを考えております。個人情報扱い方については慎重に検討していかねばなりません。多士済々の当会のことです。企画立案段階から業務案件消化体制づくりまでの合理化、ひいては会の飛躍につながることでしょう。



総会風景

～編集後記～

最近の景気はどうなのでしょう？何だか妙に忙しくなりましたが、皆さんはいかがですか？
日々の生活に忙殺される今日この頃です。（辻村）

編集・発行 NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
〒198-0052 青梅市長淵 1丁目372の2-710(吉田方)
TEL/FAX 0428-24-5120 (IP)
URL : <http://www.boreas.dti.ne.jp/~kent/gcn/>
吉田 : PONTAX@e-mail.ne.jp
辻村 : chihiro-tsujimura@nifty.com

平成 15 年 度 事 業 報 告 書

事業名	内 容	実 施 時 日	実 施 場 所	従 事 者 の 人 数	受 益 対 象 者 の 範 囲 及 び 人 数	支 出 額 (千円)
画にかかわる技術・解析事業	川辺川流域の植生図の見直し判読作業を委託し、GISデータ化の基図を作成した	平成15年9月	法人事務所	1	不特定多数	210
整備・環境情報事業	土地条件図のGISデータ修正作業を委託し、成果品を検収の上納品	平成15年12月～平成16年5月	法人事務所	1	土地条件図使用者 不特定多数	1,490
	六甲山系の地震崩壊地の動態予測等に関するGIS解析業務を委託し、報告書を納めた	平成16年3～4月	法人事務所	2	防災関係資料使用者 不特定多数	840
人自 材 育 境 成 保 全 啓 蒙 に 活 か し ま す	人と自然の博物館主催の自然環境GIS活用講座に共催参加	平成15年9月5～7日	兵庫県立人と自然の博物館(三田市)及び篠山盆地	9	行政官、民間コンサル、学生など。受講者20人	426
	専門学校の15年度前期正課授業の一環として、自然環境をテーマとした応用的なGIS操作・解析の実習講座を担当した	平成15年9～10月	学校法人東京環境工科学園(渋谷区)	5	2年次学生25名	140
	専門学校の16年度前期正課授業の一環として、自然環境をテーマとした応用的なGIS操作・解析の実習講座を担当中	平成16年4～6月(10月までの予定)	学校法人東京環境工科学園(渋谷区)	10	2年次学生25名	230
	ESRIジャパンのユーザ会において、ショートセミナー「自然環境分野ユーザのためのGIS解析体験」を実施	平成15年11月20・21日	青山テピア(渋谷区)	9	行政官、民間コンサル、学生など。受講者24人	5
	環境アセスメント協会北海道支部主催のGISの講習会で、「自然環境分野ユーザのためのGIS解析体験」ショートセミナーを担当	平成15年12月21日	酪農学園大学(江別市)	2	自然環境GISに関心をもつ民間コンサルタント。受講者10人	0
	シンポジウム「環境ベースマップフォーラム・2004」を主催	平成16年4月23日	東京国際フォーラム(千代田区)	9	行政官、民間コンサル、学生など。来場者220人	5
	ホームページの作成・運用	平成15年8月～平成16年6月	法人事務所	3	自然環境保全に関心を持つもの 不特定多数	0
	ニュースレターを発行し、ホームページにて公開中	平成16年1～6月	法人事務所	3	自然環境保全に関心を持つもの 不特定多数	0
	入会案内の一枚ものチラシを作成し、配布。また、会の理念や活動を紹介する数ページの簡単なガイドを作成し、配布	平成15年8月～平成16年6月	法人事務所	2	自然環境保全に関心を持つもの 不特定多数	0
支等に自然環境保全事業	シアトルのNPO、CommEnSpaceが日本での活動拠点を求めており、将来的な協働作業も視野に入れて、先方の担当者との連絡を取り合っている	平成15年11月～平成16年6月	法人事務所	1	不特定多数	0

従事者数は延べ人数ではありません

平成 16 年 度 事 業 計 画 書

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
画に自然環境の調査・解析 にかかわる技術の企画	2.5万現存植生図の利活用のあり方検討	平成16年9月～	法人事務所	1	不特定多数
	稀少動植物のポテンシャルマップ作成	未定	法人事務所	1	不特定多数
整備自然環境開情報の	ネイチャーベース事業への参画：GISデータベースのサーバーシステム＝「ネイチャーベース」の立ち上げを検討	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	1	不特定多数
人自 材 環 育 境 成 保 ・ 全 啓 等 蒙 に 活 か 動 か 事 わ 業 る	生態学会ポスターセッション発表：カタクリを事例に、潜在生育生息地推定図（ポテンシャルハビタットマップ）を作成し、その作成手法と利活用方法について報告	平成16年8月28日	釧路市（生態学会会場）	9	不特定多数
	生態学会自由集会：GISを用いた生態系の広域的把握や保全計画等の事業の優先順位の付け方、生態学が寄与すべき情報の共有化についてディスカッションを行う	平成16年8月28日	釧路市（生態学会会場）	7	不特定多数
	釧路湿原講習会：自然再生事業が進んでいる釧路湿原を題材に自然再生計画策定の実習を行う	平成16年8月29～31日	釧路市内および釧路湿原	15	行政官、民間コンサル、学生など。受講者26人
	地理学会発表：2005年度春季学術大会の大会を視野に、多摩地域のカタクリ、海上の森の森林成長などのデータを利用した解析を進める	平成17年3月	未定	3	不特定多数
	専門学校の16年度前期正課授業の一環として、自然環境をテーマとした応用的なGIS操作・解析の実習講座を担当中	平成16年7～10月（4月から継続中）	学校法人東京環境工科学園（渋谷区）	4	2年次学生25名
	社会人向けGIS講習（実習）会：専門学校との共同主催にて、ArcGIS8.3を用いたGIS初心者向け講習会を実施	平成16年10月18・29日	学校法人東京環境工科学園（渋谷区）	3	行政官、民間コンサルなど。受講者20人
	関連書籍を執筆・翻訳出版するための調査、検討	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	2	不特定多数
	地生態系診断士資格制度の検討	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	3	不特定多数
	ホームページの運用	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	3	自然環境保全に関心を持つもの不特定多数
ニュースレターを発行し、ホームページにて公開	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	3	自然環境保全に関心を持つもの不特定多数	
業る	GCN談話会：生態学会終了後の一連の活動報告会、ESRIユーザーカンファレンス参加者の報告会などを予定。	平成16年7月～平成17年6月	GISプラザ（港区）など	10	自然環境保全に関心を持つもの不特定多数
支等自然活か環境かわ保全	北海道のNPO法人エンビジョン環境保全事務所との協働：釧路湿原講習会、ネイチャーベース事業にかかわる協働作業などを予定	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	1	不特定多数
共通部門	ESRI Conservation Program 申請：ArcInfoとArcView9、同Spatial Analystを各1、助成価格にての購入申請中。あわせて、来年のESRIユーザーカンファレンスへの参加権5名分を申請中	平成16年7月～平成17年6月	法人事務所	5	不特定多数